

要請番号 (JL64219B09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
セネガル	C103 野菜栽培	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・ 2020/1 ・ 2020/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

職業訓練・研修・手工芸省

2) 配属機関名 (日本語)

ララン職業訓練センター

3) 任地 (ティエス州ティエス県ファンデン市) JICA事務所の所在地 (ダカール)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

本配属先は若年層の雇用促進のために設置された職業訓練センターで、3年の職業訓練で仕事に直結する技術の習得を目指している。在籍生徒数は185名、おおむね15歳～24歳までの男女を受け入れている。農業・畜産、自動車整備、木工、調理のコースがあり、修了時には職業適性証(CAP、中学校修了相当)の取得が可能である。年間予算は、約80万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

セネガル国において農業は全人口の約70%近くが従事している国の重要な産業であるが、GDPに占める農業生産の割合は約7%と低い。また、セネガル国では農村部での仕事が限られているため、若年層の都市部への流出が顕著である。よって、農業人材の育成は同国の経済発展だけでなく、地方の雇用創出につながると考えられている。本件で派遣されるボランティアは主に、農業・畜産コースの野菜栽培分野において、同僚の指導教員(農業技術者)とともに圃場での実習を指導する。また、生徒の実習先(短期間の実習カリキュラムあり)や卒業生の就職先である周辺農家を訪問し、現場で求められる技術や知識を把握し、配属先にフィードバックすることで、授業の質の向上に貢献することが期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

センター長、指導教員と協力しながら以下の活動を行う。

1. 授業への同席や地域の農場訪問を通じ、セネガルにおける農業の知識・方法を学び、現状・問題点を把握する。
2. 実習指導を通じ、生徒に基礎的な野菜栽培技術(土壌選定やコンポスト作り、栽培管理、作付けカレンダーなど)を指導する。※トマト、なす、ピーマン、唐辛子などを栽培している。
3. 生徒と市場や野菜販売所の市場調査を行い、市場を意識した栽培・販売方法を考え、アドバイスをを行う。
4. センター周辺の農業の現状を把握・調査し、授業内容改善のために必要なアイデアを配属先に提示する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

灌漑設備(ポンプ)、圃場1ha

4) 配属先同僚及び活動対象者

センター長1名(男性:50代)

野菜栽培コース指導教員1名(女性:30代※指導歴約10年)

野菜栽培コース生徒●名(10代後半～20代前半)

※生徒は家業の手伝いで農業をしているものは多いが、農業の経験がない者もいる。

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)又はフランス語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（専門学校卒）農学系 備考：知識や技術が必要
なため

[経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（15～45℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

野菜栽培などの農業やそれに類似した知識を学校で学んだことがある者、もしくは2～3年の実務経験がある者